

# 社団法人新潟県臨床検査技師会 平成25年度第1回通常総会議案書

期 日 平成25年4月27日（土）14時30分から15時40分  
会 場 新潟ユニゾンプラザ 大会議室

## 総会次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 来賓紹介
4. 表彰
5. 議長選出
6. 議長挨拶
7. 総会役員選出
  - 1) 資格審査委員選出
  - 2) 書記任命
  - 3) 議事録署名人選出
8. 資格審査報告
9. 議事
  - 1) 第1号議案 平成24年度事業報告について
  - 2) 第2号議案 平成24年度収支決算報告について
  - 3) 第3号議案 平成24年度監査報告について
  - 4) 第4号議案 平成25年度事業計画（案）について
  - 5) 第5号議案 平成25年度収支予算（案）について
  - 6) 第6号議案 支部提出議案について
  - 7) 第7号議案 日臨技定期総会提出議案について
  - 8) 第8号議案 次期役員選出について
  - 9) その他
10. 総会役員解任
11. 議長挨拶
12. 閉会の辞

## 平成24年度事業報告

### 平成24年度事業報告について

昨年末の衆議院選挙で自民党が政権復帰を果し、アベノミクス効果で現在は円安に推移している。この傾向が続き、景気浮揚に繋がることを期待したい。失われた20年とも言われているが、新生自民党として先祖がえりするようなことなく、国民の閉塞感を打破することを願っている。国外においては、尖閣諸島の領有権をめぐる中国の暴挙や、北朝鮮の核開発、軍事的挑発行為等々、東アジア地域がにわかにな臭くなってきた。

この様な状況下にはあるが、昨年度当技師会は各支部や各検査研究部門と協力、連携をとりながら、学術部、広報部、総務部を中心に懸命に活動してきた。

昨年5月に実施した第6回臨床検査セミナーでは、特別講演として県立がんセンター新潟病院の児玉省二先生より「子宮頸がん検診の現況と課題の克服」のお話をいただいた。さらに今年1月には第7回の臨床検査セミナーを開催し、静岡赤十字病院検査部大畑雅彦技師長より「実践！育ち育てられる人材育成」と題した教育講演をいただいた。このセミナーでは、各施設の情報共有を目的として、県では初めてとなる技師長・連絡責任者会議を企画したが、時間が不足するほど活発な意見交換があった。今後もニーズを見極めながら継続する必要がある。

11月18日に北里大学保健衛生専門学院で開催した第88回新潟県臨床検査学会は、中越支部が中心となり企画、準備を担当した。大変多くの参加者を得て、日臨技宮島会長から直接今後の事業展開もお聴きして、極めて盛会に無事終了出来た。また、検査研究部門の活動も各分野長のご尽力により引き続き活発に実施された。新潟県の精度管理事業については、残念ながら前年度に続いて試料配送に不具合が見受けられたので、次年度は配送方法を抜本的に変更したい。

公益事業部門では、「ピンクリボンホリデー2012」への参画の他、「新潟市健康福祉まつり」「すこやかともしびまつり」「糖尿病を知るつどい」等々各支部でも活発に事業展開が図られた。

広報部門ではホームページが委員の努力により適宜更新されて、会員からのアクセスも増加した。会誌についても順次リニューアル、新企画が実施され、今後もなお一層会員への情報提供サービスが活性化されることを期待する。

法人移行については、定款変更が総会で承認されたことを受けて、関連諸規定の見直しを実施したので今年度早々に移行申請したい。

第63回日本医学検査学会は、ワーキンググループを拡大しながら企画準備作業を本格化させた。

その他詳細は、各部門から報告するが、事業遂行を担当した各理事、各委員の献身的なご努力に改めて敬意を表したい。しかし、まだ様々な懸案事項を抱えており、多様化する会員の要望、負託に十分応えられたかを検証しながら次年度への課題とする。

### 【総務部】

#### 1. 通常総会の開催

平成24年5月19日（土）ユニゾンプラザ（大研修室）において平成24年度第1回通常総会を開催し、平成23年度事業報告、同決算報告並びに監査報告を行った。

これらについて、特に質疑はなく、拍手で承認された。

#### 2. 会務の執行体制

##### 1) 職務分担

平成24年度は役員任期の後期にあたったが、前年同様に学術部、広報部、総務部の3部門に理事を配置し、各部門との連携を図りながら会務を執行した。

## 2) 事務局体制

年々、事務局の業務量が多くなる中で、阿部事務員の努力により諸会議の準備や日臨技・北日本支部および会員との連絡・調整役を担い、又、JAMTIS 運用による会員情報登録および変更作業を迅速に処理され、新臨技会活動になくはならない重要な役割を果たしている。

## 3. 諸会議の開催

- 1) 理事会  
第1回平成24年4月14日（新潟県公社総合ビル3F会議室）  
第2回平成24年7月21日（新潟県公社総合ビル3F会議室）  
第3回平成24年10月13日（新潟県公社総合ビル3F会議室）  
第4回平成24年12月8日（新潟県公社総合ビル3F会議室）  
第5回平成25年3月16日（新潟県公社総合ビル3F会議室）

## 2) 常任理事会

定例常任理事会は従来どおり原則として毎月第2土曜日に開催し、平成24年度は3回開催した。

## 3) 三役会議

急を要する案件については、メール等を利用し協議を行った為、特に三役会議は開催しなかった。

## 4) 各種委員会の開催

### (1) 会誌編集委員会

新臨技会誌（季刊発行）第283号から第286号の編集業務のため、4回開催した。

### (2) ホームページ委員会

会員への早急な情報伝達手段としてのホームページを積極的に運用するべく委員会を2回開催し、内容やレイアウト等の検討を行い会員から親しまれるホームページをめざした。

### (3) 検査研究部門委員会

各検査研究分野の活動計画並びに運営等を協議するため1回開催した。

### (4) 生涯教育研修委員会

生涯教育委員の業務も定着してきたことから、理事会や各支部生涯教育委員と連絡をとりながら研修会予定および参加者の登録を行った。

### (5) 精度管理委員会

精度管理調査の事業計画、集計処理状況把握、検討会企画の協議のため7回開催した。

### (6) 表彰委員会

各種表彰の対象者選考のため1回開催した。

## 4. 組織対策

### 1) 入会対策

前年度同様、各支部役員および各施設連絡責任者の協力により入会を勧めてきた。

本年度の新入会および再入会の会員は67名であった。会員数の減少傾向に歯止めがかかったが、今後も予断を許さない状況にある。なお、本会の正会員総数は1,233名（平成25年3月現在）である。

また、技師連盟入会者は12月現在37名であり、臨床検査を取り巻く環境が厳しくなっていく中で、検査技師の社会的地位向上のためにも更に多くの会員の入会をお願いしたい。

### 2) 各支部との連携強化

各支部ともその地域性を生かした独自の活動が浸透し、年々活発化している。支部総会等に役員を派遣し、連携強化を図った。

### 3) 臨床検査セミナー

第6回臨床検査セミナー（5月19日）

教育講演を「学会発表に役立つ！わかりやすい話し方とスライド作成」アボットジャパン株式会社吉田

輝倫先生より、特別講演を「子宮頸がん検診の現況と課題の克服」新潟県立がんセンター新潟病院 児玉省二先生より講演をいただき、会員102名の参加を得た。

第7回臨床検査セミナー（1月26日）

技師長・連絡責任者会議を初めて開催し、また教育講演として「実践！育ち育てられる人材育成」静岡赤十字病院 大畑 雅彦検査部技師長より講演いただき、63名の参加を得た。その後の賀詞交換会では、賛助会員を含め総勢80名の出席であった。

5. 地域保健医療活動および公益事業

- 1) 新潟県臓器移植財団へ賛助会員として参画
- 2) 父の日企画「パパの健康チェック」へ中越支部が共催団体として参画（6月3日）
- 3) ピンクリボンホリデーへ新潟県臨床検査技師会として参画（7月15日）
- 4) すこやかともしびまつりへ中越支部が共催団体として参画（9月29・30日）
- 5) 糖尿病を知る集いへ中越支部が共催団体として参画（10月13日）
- 6) 第15回新潟市健康福祉まつりへ新潟支部が共催団体として参画（10月16日）
- 7) 中越地震エコノミークラス症候群フォローアップ検査に協力（小千谷市11月23・24日）
- 8) 中越地震エコノミークラス症候群フォローアップ検査に協力（十日町市12月8・9日）

6. 無料職業紹介事業

厳しい就職状況ではあるが、臨時職員の求人が募集されている。

求職登録者数1名 求人数14施設

7. 災害関係

- 1) 第1回北日本支部医学検査学会・復興祈念企画シンポジウム  
「東日本大震災・原発事故からの復興と提言」東北地区臨床検査技師会災害対策委員会 坂西 清
- 2) 東北地区臨床検査技師会より災害ネットワーク構築を目的としたHP制作費として50万円支給された。

8. 表彰関係（敬称略）

- 1) 第30回篠川至賞（篠川至賞選考委員会を経て平成24年5月19日通常総会にて表彰）  
特別功労賞 小田辺 なお子（新潟支部）  
学 術 賞 長谷川 秀 浩（中越支部）
- 2) 平成24年度功労者表彰（平成24年5月19日通常総会にて表彰）
  - (1) 永年会員功労者表彰  
該当者27名
  - (2) 特別功労者表彰  
該当者なし
- 3) 第1回日臨技北日本支部医学検査学会表彰（平成24年10月20日学会式典にて表彰）  
功労賞 伊 藤 剛 栄（新潟支部）  
功労賞 木 村 明（中越支部）
- 4) 平成22年度生涯教育履修表彰（平成24年5月19日通常総会にて表彰）  
奨励賞 坂 西 清（厚生連魚沼病院）600点  
小林 清 子（新潟大学医歯学総合病院）530点  
真 島 満美子（日本歯科大医科病院）450点  
新人賞 西 江 良 介（済生会新潟第二病院）360点

【学術部】

1. 学会

第88回新潟県臨床検査学会

日 時：平成24年11月18日（日）

会 場：北里大学保健衛生専門学院

参加人数：359人（会員216人 学生81人 非会員62人）

時 間	第1会場 視聴覚講義室 300名	第2会場 203講義室 100名	第3会場 204講義室 100名	第4会場 205講義室 100名	第5会場 206講義室 100名	第6会場 情報センター 50名	第7会場 実習室 生物系実習室	第8会場 機器展示 技師会ブース 談話室
9:30～10:00	受付							
9:45～	一般演題							
10:00～10:50	9:45～10:35 演題No.1～5	一般演題 演題No.6～10	一般演題 演題No.11～15	一般演題 演題No.16～20	一般演題 演題No.21～25			10:00～14:00
11:00～12:00	レクチャーⅠ 10:40～12:00 生理部門 『高血圧を検 査する』	レクチャーⅡ 肝細胞マ ーカーの進歩  和光純薬(株)	レクチャーⅢ 関節リウマチ の検査と治療 MMP-3, 抗CCP  積水メディカル(株)	レクチャーⅣ 血液検査で使 用される新し い薬剤  シスメックス(株)	レクチャーⅤ 中越支部企画 ようこそ先輩 (学生向け企画)	パワーポイント 実習編 先着定員制 50名 11:00～14:10 中越支部企画		
12:10～13:10	この会場、飲 食不可の為ラ ンチオンなし	ランションA 新しい抗酸菌 用試薬「TB- Beads」 (微生物部門) 極東製薬(株)	ランションB NT-proBNPの 臨床的有用性  ロシュダイアグ ノスティックス(株)	ランションC 新しいCKD 診療ガイド  シーメンス(株)	ランションなし	途中 12:10～13:10  お昼休憩 ランションへ		
13:20～14:20	レクチャーⅥ 生理部門 『いまさら聞 けない検査の ポイント』	レクチャーⅦ 検査室構築の ための“道具 立て” (管理運営) 鎗林フジサイエンス	レクチャーⅧ 肺癌及び悪性 中皮腫の検査 マーカー  富士レビオ(株)	レクチャーⅨ 中越支部企画 採血の基礎と 実践	レクチャーⅩ 中越支部企画 「HIV/AIDS について」 (公開講演)	パワーポイント 実習編 中越支部企画	レクチャーⅪ 「TB-Beads」 (実習) (微生物部門)  極東製薬(株)	
14:30～16:00	特別講演 「日臨技のこれからと未来への展望」 講師：宮島 喜文（一般社団法人 日本臨床衛生臨床検査技師会 会長） 司会：坂西 清（一般社団法人 日本臨床衛生臨床検査技師会 執行理事）							

演題 番号	演 題 名	演 者	所 属
1	末梢動脈疾患における当院検査技師の取り組み（その1）	瀧澤 瑠美	立川メディカルセンター立川総合病院
2	末梢動脈疾患における当院検査技師の取り組み（その2）	高橋 智春	立川メディカルセンター立川総合病院
3	小児の睡眠時無呼吸症候群における終夜睡眠ポリソムグラフィー検査の現状と問題点	藤巻 隼	新潟大学医歯学総合病院
4	慢性腎臓病患者における CAVI 測定の有用性	菅井 綾里	新潟大学医歯学総合病院
5	手軽な健康チェック「検査¥500」を開始して	真島満美子	日本歯科大学医科病院
6	Mycoplasma hominis による新生児化膿性股関節炎の一症例	村山由美子	厚生連長岡中央総合病院
7	感染性腹部大動脈瘤より Listeria monocytogenes が分離された一症例	山田 公子	済生会新潟第二病院
8	当院における過去12年間の Aspergillus 属分離状況	石平 悠	長岡赤十字病院
9	新潟県で見出されたヒト東洋眼虫症の1症例	小林 智子	長岡赤十字病院
10	中国で感染した Brucella melitensis によるブルセラ症の一例	細貝みゆき	新潟市民病院
11	ST-439測定試薬の院内導入に向けての基礎的検討	石川 直子	新潟県立がんセンター新潟病院
12	新潟県臨床検査センター協議会 HbA1c 精度管理調査結果報告	庭野 早苗	新潟県労働衛生医学協会
13	当会健診における LDL-C 直接法と F 式・non-HDL の比較検討	八木原幸子	新潟県労働衛生医学協会
14	MN 式血液型不適合による新生児溶血性疾患の症例	田中 香織	新潟県立小出病院
15	後産期大量出血で搬送され救命し得た DIC を発症した出血性ショックの1例	麻生さくら	新潟市民病院
16	感染を契機に赤白血病様異常細胞が骨髄に出現した MDS の一例	広沢 智美	新潟市民病院
17	偶然発見された先天性第Ⅶ因子欠乏症の2例	藤田 裕美	新潟市民病院
18	CA550を用いた FDP 測定試薬「ナノピア P-FDP」、Dダイマー測定試薬「ナノピア Dダイマー」の基礎的検討	角屋 勇氣	崇徳会長岡西病院
19	標準採血法への取り組みと今後の課題	小杉 千穂	崇徳会長岡西病院
20	急性骨髄性白血病における予後予測因子としての FLT3/ITD 変異解析の検討 BSC に試行的な取り組みについて	小坂橋亜紀子	新潟県立中央病院
21	一過性に HBs 抗体、HBc 抗体が上昇した症例	丸山佐和子	新潟県立がんセンター新潟病院
22	当院職員を対象とした麻疹・風疹・水痘抗体価について	小林 聡子	新潟県立六日町病院
23	滑膜肉腫に特異的な融合遺伝子の検出	畔上 公子	新潟県立がんセンター新潟病院
24	当院における Kras 遺伝子変異の検出法	林 真也	新潟県立がんセンター新潟病院
25	病理切片の最適な伸展条件の為の基礎的検討-第二報-	長谷川秀浩	厚生連長岡中央総合病院 病理部



## レクチャー

### 第1会場（北里ホール 視聴覚講義室）

#### 【高血圧を検査する】シンポジウム

- 講師：生化学検査 小野間健介（新潟県立新発田病院）  
心電図検査 齋藤 修（厚生連新潟医療センター）  
心エコー 桑原喜久男（済生会三条病院）  
血管エコー 小林 清子（新潟大学医歯学総合病院）  
座長：山崎 まゆみ（立川メディカルセンター 立川総合病院）

### 第2会場（203講義室）

#### 【肝細胞癌バイオマーカーの進歩】

- 講師：和光純薬工業株式会社 臨床検査薬営業本部営業推進課 稲田 育代 先生

### 第3会場（204講義室）

#### 【関節リウマチの検査と治療 ～RF・抗CCP抗体・MMP-3の使い分け～】

- 講師：積水メディカル株式会社 CSC 学術 須長 宏行 先生

### 第4会場（205講義室）

#### 【血液検査で使用される新しい薬剤（血小板受容体作動薬や分子標的薬など）】

- 講師：シスメックス株式会社 東京支店 学術情報課 岩崎 陽介 先生

### 第5会場（206講義室）

#### 【中越企画 ようこそ先輩】

病院・検診センター・治験コーディネーター・研究所に勤務する先輩から学生に向けたメッセージ

- 講師：病院勤務 近藤 善仁（厚生連長岡中央総合病院）  
検診センター勤務 中山 卓也（新潟県労働衛生医学協会）  
保健所勤務 山之内清子（新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部）  
治験コーディネーター 風間 嗣武（株式会社総合臨床サイエンス）

### 第6会場（情報センター）

#### 【中越支部企画 パワーポイント実習編】

- 講師：アボットジャパン株式会社 吉田 輝倫 先生

## ランチョンセミナー

### 第2会場（203講義室）

#### 【新しい抗酸菌集菌用試薬「TB-Beads」ご紹介】

- 講師：極東製薬工業株式会社 営業学術部 中間 慎哉, 豊田 耕一 先生

### 第3会場（204講義室）

#### 【NT-proBNPの臨床的有用性と最近の話題について】

- 講師：社団法人新潟県労働衛生医学協会 加藤 公則 先生

### 第4会場（205講義室）

#### 【新しいCKD診療ガイドのご案内と尿分析装置クリニテックノーバス】

- 講師：シーメンス ヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社  
マーケティング POC 事業部 渡辺 浩 先生

## レクチャー

### 第1会場（視聴覚講義室）

【いまさら聞けない検査のポイント】〔生理部門〕

座長：林 恵子（長岡赤十字病院）

講師：心電図検査 長谷川 恵美（県立新発田病院）

脳波検査 霜田 由美子（NHO 西新潟中央病院）

腹部超音波 牧田 真理子（労働衛生医学協会プラーカ健康増進センター）

### 第2会場（203講義室）

【これからの検査室構築のための“道具立て”ディーラーからの提案！

新しい選択肢・POT（項目単価課金方式）とは】

講師：鍋林フジサイエンス株式会社 医療推進部 駒場 誠一 先生

### 第3会場（204講義室）

【肺癌及び悪性中皮腫の検査マーカー臨床的有用性】

講師：富士レビオ(株) 学術サービス部 江川 孝則 先生

### 第4会場（205講義室）

【採血の基礎と実践】〔中越支部企画〕

講師：北里大学保健衛生専門学院 保健看護科 教員

野上 聡子 先生 貝瀬 聡子 先生

### 第5会場（206講義室）

【HIV/AIDSについて 現状を含む総論】〔中越支部企画（公開）〕

講師：新潟大学医歯学総合病院 感染管理部 川口 玲 先生

### 第6会場（情報センター）

【中越支部企画 パワーポイント実習編】

講師：アボットジャパン株式会社 吉田 輝倫 先生

### 第7会場（生物系実習室）

【新しい抗酸菌集菌用試薬「TB-Beads」ご紹介】

講師：極東製薬工業株式会社 営業学術部 中間 慎哉, 豊田 耕一 先生

## 特別講演

【日臨技のこれからと未来への展望】

講師：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 会長 宮島 喜文 先生

会場：北里ホール 視聴覚講義室

時間：14：30～16：00

## 2. 検査研究部門

平成24年度は委員の2年目に当たり、部門長と分野長は継続し変更はなかった。組織は6部門、13分野で構成され運営が行われた。検査研究部門が主催した新臨技研修会は合計25回開催され、参加人数は会員が998名、非会員が75名、学生が2名で合計人数は1,075名であった。前年度に比べ研修会回数は1.0倍、参加者数は0.94倍とほぼ同数であった。生理検査部門の生体画像分野と生体機能分野、一般検査分野、血液検査分野、輸血・移植分野は実技実習を積極的に行い、研修レベルを初心者・中堅者別など、細部まで行き届いた形式を設定した。前年就任した大勢の新任分野長も検査研究部門の運営に慣れ、実習形式の積極導入、積極的なアイデアなどが目立った活動年度であった。第63回日本医学検査学会の学術局企画部に分野長が就任し企画立案を開始した。



1) 新潟県臨床検査技師会の研修会

研究分野	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
臨床化学	平成24年 6月30日	専門 20	42	16	1) LDL-C 直接法の必要性 デンカ生研(株) 松井寛史 2) 新ガイドラインからみた脂質検査 順天堂大学大学院医学研究科臨床検査医学 三井田孝 (日本臨床化学会甲信越支部新潟分科会共催) 会場: 新潟大学医学部
	平成24年 12月1日	専門 20	30	7	1) もう一度、復習、そして新しい発見 ・臨床検査に使われる検査データの有効桁数は? 新潟県厚生連豊栄病院 佐藤卓 ・アルブミンを復習しよう 蛋白と結合する色素はどうやって結合するの? BCG法とBCP法が混在しているのに基準範囲は一緒? 新潟大学医歯学総合病院 椎谷恵子 2) R-CPC 出題者: 新潟県労働衛生医学協会 加藤公則 パネラー: 新潟大学医歯学総合病院 高橋佳乃 下越総合健康開発センター 高口功 (生物試料分析科学会甲信越支部新潟分科会共催) 会場: 新潟大学医歯学総合病院
免疫血清	平成24年 12月15日	専門 20	19	1	1) カットオフ値の算出とその周辺 北里大学保健衛生専門学院 小林浩二 2) イムノクロマト法で出現した非特異的反応の一例 新潟県厚生連魚沼病院 坂西清 3) 感染症検査におけるイムノクロマト法の有用性と注意点 富士レビオ(株) 深水香奈 会場: 新潟大学医歯学総合病院

遺伝子	平成24年 11月24～ 25日	専門 30	27	5	<p>1) 病理切片からのゲノム精製とコンパニオン診断 (株)キアゲン 三好康弘</p> <p>2) ファーマコゲノミクスに基づくオーダーメイド投薬の実現 理化学研究所 ゲノム医科学研究センター 筵田泰誠</p> <p>3) 遺伝子検査に関するトピックス - 全自動 SNPs 検査装置 i-densy の紹介 アークレイマーケティング (株) 本間雅史</p> <p>4) FFPE サンプルからのゲノム精製方法と EGFR 変異検出 の実際 キアゲン (株) 三好康弘</p> <p>5) 全自動 SNPs 検査装置 i-densy を用いた CYP2C19 遺伝 子多型測定 アークレイマーケティング (株) 本間雅史</p> <p>会場：新潟大学医学部医学科</p>
生理機能 検査部門	平成24年 5月20日	専門 20	49	0	<p>初級者セミナー</p> <p>1) 呼吸機能検査 新潟大学医歯学総合病院 加藤靖彦</p> <p>2) 神経伝導検査 富永草野病院 鈴木善雄</p> <p>3) 心電図検査 新潟県立中央病院 吉楽恵</p> <p>4) 心臓超音波検査 厚生連長岡中央総合病院 大矢佳奈</p> <p>5) 腹部超音波検査 長岡赤十字病院 小片早千子</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院</p>

	平成25年 3月2日	専門 20	48	7	<p>1) 平成24年度日本臨床検査技師会サーベイ解答と解説</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心電図 厚生連新潟医療センター 齊藤修</li> <li>・呼吸機能 新潟大学医歯学総合病院 小林清子</li> <li>・脳波 国立病院機構西新潟中央病院 土屋邦子</li> <li>・超音波：心臓・血管 済生会三条病院 桑原喜久男</li> <li>・超音波：腹部 長岡赤十字病院 林恵子</li> </ul> <p>2) 平成24年度 演題発表会</p> <p>末梢動脈疾患における当院検査技師の取り組み（その1） 立川メディカルセンター立川総合病院 瀧澤瑠美</p> <p>末梢動脈疾患における当院検査技師の取り組み（その2） 立川メディカルセンター立川総合病院 高橋智春</p> <p>慢性腎臓病患者における CAVI 測定の有用性 新潟大学医歯学総合病院 菅井綾里</p> <p>慢性腎臓病患者における腎動脈狭窄の評価 新潟大学医歯学総合病院 小林清子</p> <p>慢性閉塞性肺疾患（COPD）における心エコーを用いた肺血管抵抗の検討 済生会三条病院 桑原喜久男</p> <p>急性肝機能障害・急性腎機能障害に併発した気腫性胆嚢炎の一例 信楽園病院 稲波浩</p> <p>J波と心室再分極指標に対する自律神経興奮の関与：ホルター心電図を用いた検討 厚生連新潟医療センター 齊藤修</p> <p>震災発生時に記録されたホルター心電図の検討 立川メディカルセンター立川総合病院 山崎まゆみ</p> <p>小児の睡眠時無呼吸症候群における終夜睡眠ポリグラフィ検査の現状と問題点 新潟大学医歯学総合病院 藤巻隼</p> <p>会場：厚生連長岡中央総合病院</p>
--	---------------	----------	----	---	---

生体機能 (生理機能検査部門)	平成24年 8月25日 8月26日	専門 20	46	0	超音波実技セミナー ・心臓超音波 基本断面の走査法, 装置の設定, 心機能計測法 など Doppler を用いた左室拡張能, 定量評価に必要な時間積分値 ・腹部超音波 基本断面の走査法, 装置の設定, など  分野員他  長岡会場:平成24年8月25日 立川総合病院 新潟会場:平成24年8月26日 新潟大学医歯学総合病院
	平成25年 1月20日	専門 20	29	0	超音波検査士対策セミナー「特訓・超音波の基礎」 日立アロカメディカル(株) 武藤和彦 会場:新潟大学医歯学総合病院
細胞	平成24年 12月22日	専門 20	43	10	1) 唾液腺腫瘍の組織・細胞像の特徴と診断ポイント 久留米大学病院病理部 河原明彦 2) 標本鏡検, 解説 県立がんセンター新潟病院病理部 本間慶一 (新潟県細胞検査士会合同) 会場:県立がんセンター新潟病院
病理	平成24年 7月7日	専門 20	26	5	1) アザン・マロリー染色, 渡銀染色の比較検討 新潟市民病院 樋口忠博 2) 渡銀染色の染色理論 サクラファインテックジャパン(株) 渡辺明朗 3) 肝生検について 新潟大学大学院医歯学総合研究科 野本実 (新潟病理技術研修会と共催) 会場:新潟大学医歯学総合病院
	平成24年 11月17日	専門 20	27	1	1) ギムザ染色と non-specific エステラーゼ染色 サクラファインテックジャパン 渡辺明朗 2) 骨髄標本における免疫染色の利用法 DAKOA/S, アジア太平洋領域 GSCT 谷洋一 3) 骨髄穿刺・生検標本の病理診断 新潟大学医歯学総合病院 病理部 大橋瑠子 4) 血液疾患の診断・治療と骨髄像 新潟薬科大学 薬学部 青木定夫 会場:新潟大学医歯学総合病院

一般検査	平成24年 9月30日	専門 20	38	1	尿沈渣鏡検（血球類，上皮細胞類，円柱類，紛らわしい成分 等） 分野員 会場：新潟医療技術専門学校
	平成24年 11月4日	専門 20	26	0	1) 寄生虫検査の基礎 ～認定一般検査技師取得に向けて～ 新潟県保健衛生センター 岸本博子 2) ボリビアにおける寄生虫感染症について 新潟医療福祉大学臨床技術学科 池上喜久夫 会場：新潟大学医歯学総合病院
	平成24年 12月8日	専門 20	34	1	1) 新しいCKD重症度分類とシスタチンCからのGFR推算式について アルフレッサファーマ（株） 真鍋祐樹 2) 腎障害の新規バイオマーカーNGALについて アボットジャパン（株） 中屋美保 3) 尿中ポドサイト検出意義と検出法 新潟県立吉田病院小児科 原正則 会場：新潟大学医学部
血液	平成24年 10月27日	専門 20	38	0	血液標本による鏡検実習 （白血球細胞を中心に提示） 分野員 会場：新潟医療技術専門学校
微生物	平成24年 8月25日	専門 20	52	0	1) 感染防止対策加算について シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス（株） 松尾久昭 2) 抗菌薬・消毒薬の基礎 長岡赤十字病院感染制御専門薬剤師 小林健一 3) スライドカンファレンス ①グラム染色標本症例検討 ②基礎培地による腸内細菌同定 会場：新潟大学医学部医学科
疫学・公衆衛生	平成25年 1月19日	専門 20	42	10	1) 質量分析技術を用いた新しい微生物同定法 シスメックス・ビオメリュー（株） 関口幸恵 2) 下痢原性大腸菌の分類と最近の話題 国立感染症研究所細菌第一部 伊藤健一郎 会場：新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」

輸血・移植	平成24年 6月16日	専門 20	91	12	<p>輸血検査の基礎知識と緊急時輸血対応について</p> <p>1) 一般演題</p> <p>2) ABO, Rh 血液型 県立がんセンター新潟病院 湯本千夏</p> <p>3) 不規則抗体検査, 交差適合試験 新潟大学医歯学総合病院 上村正巳</p> <p>4) 緊急時輸血対応について 会場: 新潟大学医歯学総合病院</p>
	平成24年 7月22日 10月21日	専門 20	67	0	<p>実技講習会</p> <p>&lt;基礎コース&gt;</p> <p>血液型, 不規則抗体検査, クロスマッチを実施し, 凝集の見方, 試験管の振り方等, 初歩的な技術・考え方の習得</p> <p>&lt;認定および技能維持コース&gt;</p> <p>血液型, 不規則抗体検査, 抗体解離試験, クロスマッチ等を実施し総合的に輸血検査の理解を深めます。専門に輸血検査をやられている方や, ある程度の基礎技術を持っている中級者レベル以上</p> <p>分野員と他の認定輸血検査技師</p> <p>会場: 新潟医療技術専門学校 (7月22日)</p> <p>会場: 新潟大学医歯学総合病院 (10月21日)</p>
管理・運営	平成25年 2月9日	専門 20	21	3	<p>これから求められる院内・地域における ICT 活動とその展開 新潟大学医歯学総合病院感染管理認定看護師 内山正子</p> <p>2) 個人の力量を明確に! 人材育成におけるラダー作成とその運用 上尾中央総合病院検査技術科 小島徳子 船橋総合病院検査科 風間健美</p> <p>会場: 新潟大学医歯学総合病院</p>



### 3. 精度管理事業

新潟県から新潟県医師会への委託事業である本事業は、平成24年度で33回目を数えた。技師会としても積極的に当事業に協力し、集計、解析を含めた実務の中心的役割を果たすと共に、臨床検査の精度向上に努めた。

本事業を担当する精度管理委員会は全体会議と臨床化学担当の分科会を含め計7回開催し、実施計画及び配送準備、データ集計、解析を実施した。

本年度も感染症実施項目は微生物検査に技師会が担当する一般菌の1菌種について感受性を実施し、新潟県保健環境科学研究所が担当する2菌種の同定を合わせて実施した。臨床化学は昨年同様27項目で今年度も参考調査項目としてMgを加えた。調査試料は今年度低濃度域に自家製人プール血清を用い、高濃度域には昨年同様市販管理試料を用いた。人プール血清では概ね反応性の問題は回避できたが、高濃度域は管理試料であるため、反応性の問題は避けて通れず、本年度もHDLコレステロール、LDLコレステロール、CKはメーカー参考値を用いて評価した。なお、ドライケミストリー法についても評価を行った。今年度臨床化学試料は冷凍配送を予定していたが、配送段階でドライアイスが溶け冷蔵検体として届いた施設や、ドライアイスが多すぎて、HbA1c試料や血球数算定試料が凍結するなどの問題も発生し、多くの施設にご迷惑をおかけした。今後は配送を検討し、次回からは冷蔵・冷凍の別送をする事とし、更に今後このような事のない様に梱包・輸送方法を検討し、文書化しマニュアルを作成していきたい。これらの事から融解による影響を検証した結果、サンプル1のLD、TG、GLUにおいてその可能性が示唆され、時系列変化を検討した結果3%程度の変動があったことから各項目、幅を広げ評価基準を設定した。血液サンプルにおいては再度試料を配送し、測定をお願いするなどしたが、試料が溶血した全施設に試料が再配送出来なかった事などを考慮し、有形成分のRBC・WBC・PLTは評価基準を設けずに評価せずHbのみの評価とした。

集計作業の迅速化、誤登録防止を目的に昨年度同様に臨床化学のみではなく、微生物調査についても調査結果報告用ファイルをWebよりダウンロードする方法を実施した。施設の事情に合わせて用紙での報告も受付けたが、参加総施設数152施設のうち、Web利用150施設、用紙報告2施設であった。

精度管理調査事業の内容（実施要項）は以下のとおりである。

#### 1) 臨床化学

測定日：平成24年11月5日（月）より施設に配布し、到着次第速やかに実施。

調査項目：ブドウ糖、中性脂肪、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、ナトリウム（Na）、カリウム（K）、クロール（CL）、カルシウム、尿素窒素、クレアチニン、尿酸、AST（GOT）、ALT（GPT）、アルカリフォスファターゼ（ALP）、 $\gamma$ -GT（ $\gamma$ -GTP）、LD（LDH）、CK、アミラーゼ、コリンエステラーゼ（CHE）、HbA1cの21項目を評価対象として評価

調査項目：総蛋白、アルブミン、血清鉄、C反応性蛋白（CRP）、無機リン、総ビリルビン、Mgは測定のみとし評価は行なわず。

サンプル：以下の4種類

（臨床化学用）人プール血清サンプル1、人凍結管理試料2

（HbA1c用）MAP血サンプルA、

（ドライケミストリー用）人プール血清DRY I、II

報告締め切り：平成24年11月14日（水）必着。

#### 2) 微生物検査

検査日：平成24年11月14日（水）より参加施設が県内各地の一時保管場所に取りに行き速やかに実施。

検査項目：試料中の病原菌の同定（血清型別実施可能な施設は必要に応じて実施）  
感受性検査

サンプル：同定検査A、B、Cの3種類。

感受性検査Cの1種類。

報告締め切り：平成24年11月30日（金）必着。

### 3) 血液検査

検査日：平成24年11月5日（月）より施設に配布し、到着次第速やかに実施。

検査項目：CBC5項目（ヘモグロビン、白血球数、血小板数、赤血球数、ヘマトクリット）

サンプル：市販管理血球Cの1種類

報告締め切り：平成24年11月14日（水）必着。

集計概略は総参加施設数152施設、臨床化学施設135施設（内HbA1cは104施設）、微生物検査同定69施設、感受性検査52施設、血液検査128施設であった。

臨床化学検査については、データ集計後、平成25年1月22日（火）に施設別報告書を各施設に送付した。本年度も評価対象項目のすべてのサンプルにおいて評価を行ない、ドライケミストリー法も独自の評価基準で評価したが、使用施設数が5未満の測定方法については評価対象外とし、「A」は許容限界内、「B」は許容限界の2倍以内、「C」は許容限界の2倍超とした。

今年度も精度管理の意識向上を目的に施設名を公表する事とした。最終集計結果については新潟県臨床精度管理協議会において検討し臨床検査精度管理調査検討会（報告会）で報告した。参加施設には県知事名の参加証が交付された。

平成19年度より、日臨技データ標準化事業が始まり、本年度も基幹施設（新潟大学医歯学総合病院、県立がんセンター新潟病院、厚生連刈羽郡総合病院、新潟県労働衛生医学協会）での活動が順調に進行した。日臨技精度保証施設認証制度は今年度の申請施設は16施設で新潟県精度保証施設認定委員会の審査を経て日臨技より認証された。

### 4. 生涯教育

本年も県技師会主導で生涯教育業務を遂行した。各検査研究班および各支部担当者にご尽力いただき、行事・参加者登録を行ってもらった。任期2年目ということもあり特に大きなトラブルはなかった。また、ボランティア活動や臨床検査の普及のための啓蒙活動などが活発に行われる中で、生涯教育行事登録を行い活動を支援した。

### 【広報部】

新臨技会誌、新臨技ニュースおよび新臨技ホームページの運営を通じて全会員にリアルタイムに情報の提供が出来るよう心がけてきた。

新臨技会誌において、投稿者名を間違えるミスが発生し会員の皆様には多大な迷惑を掛けてしまった。会誌編集委員会で校正確認方法や印刷業者との連携を改善し対応した。今後このようなことを繰り返さないよう改善策を徹底する。

新臨技ニュースは、理事会議事要旨、研修会案内および求人情報など新臨技の新しい情報をいち早く会員施設へ提供できた。

新臨技ホームページは、会員への情報発信手段として安定した運営であった。新潟県臨床検査学会および北日本支部医学検査学会のバナー掲載は会員から好評であった。これに留まらず、レイアウトやリンクなどを工夫し会員への使いやすさを追求していきたい。

### 新臨技会誌

講義の内容は部門長を通じてすべての分野から投稿していただくように広報活動に力を入れてきた。〔研修会報告〕は参加会員の協力により引き続き掲載し、情報提供や新人会員の研鑽の頁とした。親睦広報に関しては〔ペンリレー〕〔新入会員紹介〕〔検査技師として～私の思い出～奮闘記〕などの掲載で会員相互の親睦をは

かり、だれでも参加できる企画にした。また公益活動の内容を紹介し、多くの会員に参加していただくため、〔公益活動報告〕を掲載した。その他、施設紹介を新に設け、新設された検査室を紹介し施設情報の共有を図った。年4回 季刊発行（283号から286号まで）

<平成24年度会誌掲載内容>

283号 平成24年4月1日

〔講義〕「胸部X線写真の見方」長岡赤十字病院 呼吸器内科	佐藤 和弘
「生殖補助医療（ART）におけるエンブリオロジストの役割」	小玉真由美
「敗血症のバイオマーカー ～プロカルシトニンを中心に」	堀江美知子
〔研究〕「頸動脈エコー検査に関するアンケート調査」結果報告	小林 清子
〔甲 辞〕加茂谷邦磨さんを偲んで	水澤 直人
〔受賞者のことば〕厚生労働大臣表彰を受彰して	吉原 正弘
〔施設紹介〕木戸病院	味方 憲人
〔研修会参加報告〕	
遺伝子分野研修会に参加して	丸山由香利
形態部門一般検査研修会に参加して	小林 路子
形態検査部門・細胞診検査分野合同研修会	渡邊 裕美
感染制御部門疫学・公衆衛生分野研修会	小林 元
微生物分野研修会に参加して	橋本めぐみ
超音波セミナーに参加して	矢澤 侑子
	羽賀 純子
病理検査分野研修会に参加して	小杉 久良
〔認定技師精度紹介〕	
細胞検査士認定試験について	神田 真志
〔ペンリレー〕	藤田 陽介
〔検査技師として～私の思い出～〕	湯本 正洋
	姥澤 里美
	松枝愛実香

〔会 報〕 平成23年度第2回総会議案書	
平成23年度第2回総会議事録	
アンケート集計	
平成24年度第1回総会議案書	
一般財団法人新潟県臨床検査技師会定款	
1月常任理事会議事録	
第4回理事会議事録	
第5回理事会議事録	
第6回理事会議事録	
新入会員紹介	
会員消息	
新臨技会日誌	

〔行事予定〕

284号 平成24年7月1日

- 〔あいさつ〕平成24年度にあたり ……………松田 和博
- 〔講義〕泌尿器科医が前立腺生検に求めるもの……………石崎 文雄  
甲状腺疾患診断フローチャート活用法と TSH レセプター抗体臨床の有用性 ……江川 孝則
- 〔研究〕新潟病院におけるインフルエンザウイルス検出状況とインフルエンザ  
(H1N1) 2009 (H275Y) による医療関連感染について ……………柳田 光利
- 〔認定技師精度紹介〕認定一般検査技師について ……………小野 篤史
- 〔施設紹介〕厚生連佐渡総合病院 ……………斎藤 佳子
- 〔研修会参加報告〕  
形態部門一般検査分野研修会に参加して……………佐々木伸輔  
生体機能検査分野研修会・神経生理セミナー……………加藤 靖彦  
生理機能検査部門画像分野研修会・超音波検査士対策セミナー……………見辺 典子  
下越支部研修会に参加して……………坪谷 貴治  
上越支部春季研修会に参加して……………佐藤まゆみ
- 〔ベンリレー〕……………佐々木伸輔
- 〔検査技師として～私の奮闘記～〕……………山田 佑輔  
石川 明子
- 〔案内〕第88回新潟県臨床検査学会案内 演題申込要領
- 〔会報〕平成24年度 第1回通常総会議事録  
平成23年度監査報告  
第1回理事会議事録  
会員消息  
新臨技会日誌
- 〔行事予定〕

第285号 平成24年10月1日

- 〔講義〕分子標的治療薬と病理診断－肺癌を中心に－……………棟近 永子
- 〔研究〕「乳腺超音波検査に関するアンケート調査」結果報告 ……………大桃 優子, 小柳 敬子
- 〔案内〕第88回新潟県臨床検査学会
- 〔研究〕第88回新潟県臨床検査学会抄録
- 〔案内〕医療情報学連合会
- 〔認定技師制度紹介〕超音波検査士認定試験を受験して……………小野 智美
- 〔受賞者のことば〕  
篠川至賞を受賞して……………長谷川秀浩  
篠川至賞を受賞して……………小田辺なお子  
生涯教育新人賞を受賞して……………西江 良介
- 〔公益活動参加報告〕  
～パパの健康チェック～に参加して……………青柳 真佳  
日本心血管インターベンション治療学会……………高橋奈南美
- 〔研修会参加報告〕  
生理機能初心者セミナー……………井塚 翔  
第6回臨床検査セミナー……………川崎 一子

〔施設紹介〕新潟勤労者医療協会 下越病院 .....伊藤 治生  
〔ペンリレー〕.....佐々木善子

〔検査技師として～私の思い出～〕

検査技師として～私の奮闘記～.....郷 裕昭  
検査技師として～私の奮闘記～.....青柳 真佳  
検査技師として～私の奮闘記～.....島村真奈美

〔会 報〕 第2回理事会議事録  
6月常任理事会議事録  
9月常任理事会議事録  
新入会員紹介  
会員消息  
新臨技会日誌

〔行事予定〕

286号 平成25年1月1日

〔あいさつ〕新年のあいさつ .....松田 和博  
〔講 義〕非腫瘍性疾患における肺生検の意義～間質性肺炎を主体に～.....朝川 勝明  
〔募 集〕「第63回日本医学検査学会のテーマ」および「シンボルマーク」募集要項

〔研修会参加報告〕

形態検査部門血液分野 実技講習会.....郷 裕昭  
超音波実技セミナー.....三富 圭  
高橋奈南美  
輸血・移植検査部門 輸血検査実技講習会.....塚田 彩実  
呼吸機能検査セミナー参加して.....小池 史織  
微生物分野研修会に参加して.....麻生さくら  
第88回新潟県臨床検査学会参加して.....佐野 真央  
微生物分野研修会に参加して.....柳田 光利  
ようこそ先輩に参加して.....大倉 麻美  
採血の基礎と実践に参加して.....瀬高 佑輔

〔公益活動参加報告〕

ピンクリボンホリデー2012のボランティアに参加して.....宮路 渚  
健康まつりに参加して.....末永 有香

〔ペンリレー〕.....渡邊 裕美

〔検査技師として～私の奮闘記～〕.....宮崎 彩織  
桃井真理恵  
松田 将門

〔会 報〕 第3回理事会議事録  
新入会員紹介  
会員消息  
新臨技会日誌

〔行事予定〕

## 新臨技ニュース

理事会議事要旨の掲載を中心に、組織活動、研修会案内、求人情報など速報性のある内容を順次掲載してきた。発行は理事会終了後の月1回とし、掲載情報の正確性を保つため努力してきた。今年度は写真を多く掲載し見やすさをより追求した。

## 新臨技ホームページ

新臨技ホームページは案内・各支部活動・各研究班活動の内容がリアルタイムに閲覧でき好評である。事務局との連携を密にしたことにより会員への情報提供がより迅速となった。特に、学術研究会や支部研修会の予定を掲載することにより県内会員への情報の共有化に努めた。今年度から新規に掲載した新潟県臨床検査学会および北日本支部医学検査学会のバナーは特に好評であった。

## 【主要行動報告】

1. 新潟県はっぴー乳ライフ実行委員会へ松田会長出席（4月3日）
2. 新潟医療技術専門学校入学式へ松田会長出席（4月6日）
3. 平成24年度第1回理事会（4月14日）
4. 表彰委員会（4月20日）
5. 東臨技災害対策委員会（仙台市）へ坂西理事出席（4月21日）
6. 篠川至賞選考委員会（5月8日）
7. 業務会計監査（5月10日）
8. 都道府県用精度管理システム委員会ならびに平成24年度臨床検査データ標準化事業全国代表者会議へ伊藤技師、石川技師が出席（5月12日）
9. 第6回臨床検査セミナー、第1回通常総会（5月19日）
10. 日臨技第1回定期総会（東京都）へ坂西理事出席（5月26日）
11. 平成24年度栄養生活学会第1回役員会へ吉原副会長出席（5月28日）
12. 6月常任理事会、学術部門会議（6月2日）
13. 日臨技執行理事会・理事会へ坂西理事出席（6月8日）
14. 第61回日本医学検査学会（三重県）へ渡辺副会長、堀川副会長、山崎実行委員長、坂西理事、小柳事務局長視察（6月09日～10日）
15. 東北技師会血液検査研修会へ松田会長出席（6月23日）
16. 日臨技学会組織委員会へ坂西理事出席（6月23日）
17. 第63回日本医学検査学会第1回運営部会へ渡辺副会長、山崎実行委員長、小柳事務局長、坂西理事出席（日臨技会館）（6月23日）
18. 健康づくり財団評議員会へ松田会長出席（6月26日）
19. 検査標準化委員会（6月26日）
20. KAMT 韓国50周年記念学術大会へ坂西理事出席（6月27日～30日）
21. 日韓代表者会議へ坂西理事出席（6月28日）
22. 広報部第1回ホームページ委員会（6月30日）
23. 東臨技学術部長・学術部門長会議へ渡辺副会長、菅原部門長出席（盛岡市）（7月6日）
24. はっぴー乳ライフ実行委員会へ松田会長、田澤理事出席（7月10日）
25. 日臨技執行理事会、学術部委員会、支部長連絡会議へ坂西理事出席（7月14日）
26. 心臓検定（CVIT内ブース設営）へ田澤理事、堀川副会長、神田理事出席（7月15日）
27. 第2回理事会（7月21日）
28. 新潟県・新潟市合同精度管理専門委員会へ松田会長、高野理事、神田理事出席（8月2日）



29. 新潟県精度管理調査協議会へ松田会長, 坂西理事出席 (8月7日)
30. 日臨技 第2回学術委員会に坂西理事出席 (8月10日)
31. 日臨技 執行委員会・広報委員会・チーム医療推進検討委員会に坂西理事出席 (8月11日)
32. 故村松貞夫名誉会員の通夜(上越市)に山川理事が参列 (8月18日)
33. 総務部庶務会議 (8月23日)
34. 新潟県がん検診研究会理事会へ松田会長出席 (8月28日)
35. 東北技師会災害対策検討委員会(福島)へ坂西理事出席 (8月31日)
36. 東北技師会代表者・事務局長合同会議へ松田会長, 小柳事務局長, 坂西理事出席 (8月31日)
37. 新潟県糖尿病対策推進会議幹事会へ松田会長出席 (9月4日)
38. 9月常任理事会 (9月8日)
39. 日臨技 執行委員会・学術委員会・チーム医療推進検討委員会に坂西理事出席 (9月8日)
40. 新潟県臨床検査センター協議会へ松田会長出席 (9月15日)
41. はっぴー乳ライフ実行委員会に松田会長, 田澤理事出席 (9月18日)
42. 日臨技未来構想策定委員会に坂西理事出席 (9月20日)
43. 第29回がん征圧新潟県大会へ松田会長出席 (9月21日)
44. 日臨技執行理事会議, 情勢報告会に坂西理事出席 (9月21日)
45. 日臨技第5回理事会, 支部長連絡会議に坂西理事出席 (9月21日)
46. 新潟県がん検診研究会へ松田会長出席 (9月24日)
47. 衛生検査所立入検査(新潟市)へ松田会長出席 (9月28日)
48. 特例民法法人の新潟県福祉保健部立入検査 (10月4日)
49. ピンクリボンホリデー2012へ参画 (10月8日)
50. 会誌編集委員会 (10月9日)
51. 第3回理事会 (10月13日)
52. 日臨技執行理事会議, 第四回学術委員会, チーム医療推進検討委員会に坂西理事出席 (10月13日)
53. 日臨技学術組織再構築に関する検討委員会に坂西理事出席 (10月14日)
54. 北日本支部幹事会(福島市)へ渡辺副会長・坂西理事出席 (10月19日)
55. 第1回北日本支部学会へ渡辺副会長・堀川副会長・坂西理事出席 (10月20日)
56. 山形県技師会創立60周年式典(天童市)へ松田会長出席 (10月27日)
57. 全国学会拡大WG会議 (10月27日)
58. 日臨技, 東日本・福島原発対策委員会・チーム医療推進のための看護業務検討WG対応打ち合わせに坂西理事出席 (11月9日)
59. 日臨技執行理事会議・チーム医療推進検討委員会に坂西理事出席 (11月10日)
60. 第88回新潟県臨床検査学会 (11月18日)
61. 日臨技未来構想策定委員会に坂西理事出席 (11月26日)
62. 広報部拡大会議 (12月1日)
63. 全国学会拡大WG会議 (12月8日)
64. 第4回理事会 (12月8日)
65. 日臨技 チーム医療推進検討委員会・学術組織委員会に坂西理事出席 (12月8日)
66. 日臨技 執行理事会議・第62回日本医学検査学会運営部会・学術組織再構築検討委員会に坂西理事出席 (12月9日)
67. 日臨技 支部長会議・日臨技忘年会に 坂西理事出席 (12月21日)
68. 細胞診検査分野研修会へ松田会長出席 (12月22日)

69. 日臨技 理事会・学術委員会・広報委員会に坂西理事出席（12月22日）
70. 日臨技 JSLM 合同未来構想 WG 委員会に坂西理事出席（1月5日）
71. 日臨技 執行理事会議・生涯教育検討委員会に坂西理事出席（1月12日）
72. 日臨技 日本臨床検査教育協議会合同会議に坂西理事出席（1月18日）
73. 日臨技 臨時執行理事会に坂西理事出席（1月19日）
74. 第2回新潟県臨床検査精度管理協議会へ松田会長，坂西理事出席（1月22日）
75. 医務薬事課へ吉原副会長，堀川副会長，小柳事務局長訪問（1月24日）
76. 日臨技情勢報告会，技師連盟責任者会議へ松田会長，坂西理事出席（1月25日）
77. 日臨技全国幹事会，北日本支部幹事会へ松田会長，坂西理事出席（1月26日）
78. 第7回臨床検査セミナー，賀詞交換会（1月26日）
79. 新潟県・新潟市合同精度管理専門委員会へ松田会長出席（2月1日）
80. 2月常任理事会（2月2日）
81. 日本臨床検査薬協会プロモーション説明会（東京都）へ吉原副会長出席（2月5日）
82. 日臨技 第63回学会運営部会及び第62回学会展示説明会へ渡辺副会長，小柳事務局長，山崎学会実行委員長，加藤学会事務局長出席（2月8日）
83. 日臨技 予算委員会，第62回学会運営部会，第63回運営部会，第62回展示説明会へ坂西理事出席（2月8日）
84. 日臨技 予算委員会，執行理事会議，学術委員会へ坂西理事出席（2月9日）
85. 中越支部総会へ吉原副会長出席（2月16日）
86. 第2回東北代表者会議（仙台市）へ松田会長，渡辺副会長出席（2月22日）
87. 下越支部総会へ渡辺副会長出席（2月23日）
88. 日臨技 学術組織再構築検討委員会へ坂西理事出席（2月23日）
89. 新潟支部総会へ松田会長出席（2月23日）
90. 新潟医療技術専門学校卒業式へ松田会長出席（3月8日）
91. 日臨技 予算委員会へ坂西理事出席（3月8日）
92. 上越支部総会へ吉原副会長出席（3月9日）
93. 新潟県臨床検査センター協議会へ松田会長出席（3月9日）
94. 日臨技 執行理事会議，倫理委員会へ坂西理事出席（3月9日）
95. 第5回理事会（3月16日）

## 平成24年度収支決算報告

## 平成24年度収支決算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

## 収入の部

大科目	中科目	小科目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
会費収入			8,092,000	8,177,000	△ 85,000	
	正会員会費		6,732,000	6,897,000	△ 165,000	1,254名
	賛助会員会費		1,360,000	1,280,000	80,000	64社
事業収入			4,340,000	4,148,650	191,350	
	参加費収入		1,500,000	1,936,650	△ 436,650	県学会, セミナー, 研究部門
	会誌広告収入		540,000	640,000	△ 100,000	会誌広告料
	助成金収入		2,300,000	1,572,000	728,000	日臨技, 県医師会
雑収入			1,005,000	888,901	116,099	
	預金利息収入		5,000	8,901	△ 3,901	
	雑収入		1,000,000	880,000	120,000	研究部門協力金, 学会協力金
当期収入合計	A		13,437,000	13,214,551	222,449	
前期繰越収支差額			1,000,000	2,119,813	△ 1,119,813	
収入合計	B		14,437,000	15,334,364	△ 897,364	

支出の部

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	備考
事業費			9,100,000	8,487,641	612,359	
	学術研究費		4,050,000	3,953,680	96,320	
		学 会 費	1,000,000	849,145	150,855	第88回県学会
		学術部活動費	2,200,000	2,391,288	△ 191,288	検査研究部門活動費
		精度保障事業費	400,000	267,458	132,542	新潟県精度管理事業
		負 担 金	350,000	341,725	8,275	東北技師会負担金
	総会費	雑 費	100,000	104,064	△ 4,064	源泉徴収税
			1,250,000	1,462,231	△ 212,231	
		準 備 費	250,000	229,810	20,190	賞状、筒
	広報費	運 営 費	1,000,000	1,232,421	△ 232,421	セミナー費用、会場費
			2,500,000	2,485,571	14,429	
		会誌発行費	2,000,000	2,110,131	△ 110,131	会誌発行4号
	組織強化費	広 報 編 集 費	500,000	375,440	124,560	編集委員会
			1,300,000	586,159	713,841	
		支 部 強 化 費	600,000	501,836	98,164	各支部助成金
		組 織 広 報 費	500,000	84,323	415,677	公益事業活動
		災 害 対 策 費	200,000	0	200,000	災害用備品
管理費			4,910,000	3,878,479	1,031,521	
	事務費		2,400,000	1,869,862	530,138	
		備 品 費	200,000	134,941	65,059	プリンター、レーザーポインター
		消 耗 品 費	100,000	74,797	25,203	文房具等
		印 刷 費	300,000	378,219	△ 78,219	封筒、コピー代
		通 信 費	500,000	468,899	31,101	案内発送
		交 通 費	350,000	122,030	227,970	日臨技、東北会議
		渉 外 対 策 費	300,000	123,576	176,424	関連団体、支部対策費
		報 酬 費	650,000	567,400	82,600	事務職員報酬等
	会議費	旅 費	600,000	643,320	△ 43,320	理事会等旅費
	事務所費		1,730,000	1,297,842	432,158	
		維 持 管 理 費	1,600,000	1,178,652	421,348	賃貸料、電気代
		電 話 費	100,000	114,907	△ 14,907	電話、電報
		事 務 所 雑 費	30,000	4,283	25,717	事務所備品
	雑費		180,000	67,455	112,545	
		交 際 費	150,000	60,255	89,745	関連団体慶弔費
		雑 費	30,000	7,200	22,800	
特定預金支出		300,000	501,048	△ 201,048		
	会館建設引当預金支出	0	1,048	△ 1,048	会館引当金利息	
	学会引当預金支出	300,000	500,000	△ 200,000	学会積立	
予備費		127,000	0	127,000		
当期支出合計	C	14,437,000	12,867,168	1,569,832		
当期収支差額	A - C	△ 1,000,000	347,383	△ 1,347,383		
次期繰越収支差額	B - C	0	2,467,196	△ 2,467,196		

# 総合財産目録

平成25年3月31日現在

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	705,291		
普通預金			
第四銀行臨港支店	1,691,187		
ゆうちょ銀行	70,718		
流動資産合計		2,467,196	
2. 固定資産			
会館建設引当預金			
第四銀行臨港支店（定期）	10,000,000		
北越銀行県庁支店（定期）	4,096,156		
ゆうちょ銀行（定額5口）	5,268,000		
篠川至賞引当預金			
ゆうちょ銀行（定額3口）	6,101,000		
共済基金			
ゆうちょ銀行（定額3口）	1,724,000		
固定資産合計		27,189,156	
資産合計			29,656,352
II. 負債の部			
1. 流動負債		0	
2. 固定負債		0	
負債合計			0
正味財産			29,656,352

## 1. 正味財産増減計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

科 目	金 額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額			
会館建設引当預金	1,048		
当期収支差額	347,383		
資産増加額合計		348,431	
2. 負債減少額		0	
増加額合計			348,431
II. 減少の部			
1. 資産減少額			
学会引当金預金 （全国学会会計へ繰り入れ）	2,500,000		
2. 負債増加額		0	
減少額合計			2,500,000
当期正味財産増加額			△ 2,151,569
前期繰越正味財産額			31,807,921
期末正味財産合計額			29,656,352

## 2. 貸借対照表 平成25年3月31日現在

科 目	金 額	
I, 資産の部		
1, 流動資産		
現金預金	2,467,196	
流 動 資 産 合 計		2,467,196
2, 固定資産		
会館建設引当預金	19,364,156	
篠川至賞引当預金	6,101,000	
共済基金	1,724,000	
固 定 資 産 合 計		27,189,156
資 産 合 計		29,656,352
II, 負債の部		
1, 流動負債		0
2, 固定負債		0
負 債 合 計		0
III, 正味財産の部		
正味財産		29,656,352
(うち当期正味財産増加額)		(△ 2,151,569)
負債及び正味財産合計		29,656,352

### 計算書類に対する注記

#### 1 重要な会計方針

- ① 資産の評価基準及び評価方法について
  - ・ 棚卸資産は、最終仕入原価法による原価法。
  - ・ 投資有価証券は、異動平均法による原価法。
- ② 固定資産の減価償却について
  - ・ 有形固定資産の減価償却は定率法により行う。
- ③ 引当金の計上基準について
  - ・ 貸倒引当金、賞与引当金は、法人税法の規定に基づく繰入限度相当額を計上する。
  - ・ 退職給与引当金は、役員及び職員の退職金支給に備え、退職金期末要支給額を計上する。
- ④ 資金の範囲について
  - ・ 資金の範囲には、現金預金、未収金、未収会費、仮払金、未払金、仮受金を含めている。
 なお、前期末及び当期末残高は下記4のとおりである。

- 2 基本財産は所有していない。
- 3 有形固定資産は所有していない。
- 4 未収金等及び未払金等は発生していない。
- 5 担保に供している資産並びに支払を保証している債務はない。
- 6 表示の金額は、円単位で表示している。



## 【上越支部】

<研修会等>

秋季研修会：第99回上越支部研修会（生涯教育 基礎20点）

日 時 平成24年10月20日（土） 13：00～17：00

場 所 上越市民プラザ

内 容 市民公開講演

『37歳で医者になった僕』

講師：川渕 圭一 先生

教育講演

『睡眠時無呼吸症候群について』

睡眠時無呼吸症候群とはどんな病気？

SAS 検査 解析～治療まで

講師：フクダライフテック（株） 高井 昭生 先生

参加者 85名（会員 50名 非会員 35名）

春季研修会：第100回上越支部研修会及び総会（生涯教育 基礎30点 専門20点）

日 時 平成25年 3月 9日（土） 14：00～17：40

場 所 高陽荘

内 容 教育講演

『アレルギー 花粉症を中心に』

講師：日本ケミファ 小西 有美 先生

『迅速な特異的 IgE 抗体検査』

講師：日本ケミファ 又木 隆浩 先生

『凝固線溶マーカーの基礎』

講師：三菱化学メディエンス 営業企画部 澤畑 一樹 先生

参加者 41名（会員 38名 非会員 3名）

<理事会>

研修会の打ち合わせ等で10回開催した。

第1回 平成24年 4月24日（水）

第2回 平成24年 5月23日（水）

第3回 平成24年 6月20日（水）

第4回 平成24年 7月25日（水）

第5回 平成24年 9月12日（水）

第6回 平成24年10月17日（水）

第7回 平成24年11月28日（水）

第8回 平成24年12月14日（金）

第9回 平成25年 1月30日（水）

第10回 平成25年 2月20日（水）

## 【中越支部】

1）平成24年度中越支部講演会 [生涯教育認定 基礎20 参加70名]

平成24年3月10日(土) 13:45~15:30パストラル長岡

講演1 「PCのウイルスについて」

講師 株式会社 BSN アイネット 吉田 昌弘 先生

講演2 「臨床検査技師のセカンドライフ」

講師 北里大学保健衛生専門学校 臨床検査技師養成科 富永 一郎 先生

2) 平成24年度中越支部通常総会 [生涯教育 基礎30 参加36名]

平成24年3月10日(土) 15:45~16:15 パストラル長岡

議長 渡辺 直樹 技師 (厚生連魚沼病院)

議事 ①平成23年度事業・決算・監査報告

②平成24年度事業計画・予算案提案

以上の議案について審議され、原案通り承認された。

3) パパの健康チェック [生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師8名]

平成24年6月3日(日) 11:00~16:00 アオーレ長岡

主催:ヘルシープラン21実行委員会・長岡市福祉保健部健康課

会場来場者に血糖及びCO測定・・・各160名

4) 中越支部フォーラム~第47回 POC セミナー~ [生涯教育 基礎20 参加27名]

平成24年9月1日(土) 14:00~17:00 立川メディカルセンター多目的施設きぼう講堂3F

メインテーマ “臨床検査を取り巻く環境”

セミナーテーマ “POCTのデータマネジメントと通信”

講演I 『臨床における血糖測定データマネジメント』

講師 ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 DC事業部マーケティング部

満吉 利桂 先生

講演II 『通信の基礎』

講師 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス株式会社 マーケティング部

山本 邦夫 先生

講演III 『POCTの活用法と臨床医からみた留意点』

講師 昭和大学横浜市北部病院 臨床検査科 木村 聡 先生

5) “すこやかともしびまつり2012” [生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師9名]

平成24年9月29日(土)・30日(日) ハイブ長岡 一般市民来場者 約15,200人

主催:長岡市

心電図体験, 臨床検査技師の紹介……ブース体験者183名

6) 糖尿病を知るつどい [生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師8名]

平成24年10月13日(土) 12:00~16:30 長岡リリックホール

主催:長岡市医師会

協賛:長岡市, 薬剤師会, 栄養士会, 看護協会, 臨床検査技師会, 他

内容:来場者 340名

一般参加者の血糖値を測定……230名

一般参加者の眼底測定……30名

7) 中越グラム染色研究会 [参加者40名]

平成24年11月3日(土) 長岡赤十字病院 第1会議室

主題 「グラム染色」

講師 駿河台日本大学病院 西山 宏幸 先生

- 8) 長岡生理機能検査セミナー [生涯教育 専門20 参加者48名]  
 平成24年12月6日(土) シティーホールプラザ「アオーレ長岡」1F市民交流ホールA  
 講演1:「プレタール OD 錠の抗動脈硬化作用について」  
 講師:大塚製薬株式会社 学術応用開発課 田邊 優子 先生  
 講演2:「各施設における血管エコー検査の実際」  
 講師:厚生連長岡中央総合病院 大矢 佳奈 先生  
 長岡赤十字病院 丸山千恵子 先生  
 立川総合病院 瀧澤 瑠美 先生  
 講演3:「頸動脈エコー検査:新潟県の現状と検査のポイント」  
 講師:新潟大学医歯学総合病院 診療支援部 臨床検査室 小林 清子 先生  
 \*ふれあい研修会 本年は、第88回新潟県臨床検査学会開催担当だったため、開催せず

《平成24年度会議録》

- 第1回理事会 平成24年5月10日(木) 18:30~ 立川 MC 会館 4F  
 議題:理事担当職務, 担当病院, 連絡網の確認  
 年間事業, 役割決定・支部フォーラムについて  
 「父の日企画」について, 他
- 第2回理事会 平成24年6月14日(木) 18:30~ 立川 MC 会館 4F  
 議題:支部フォーラム日程, 内容, 担当, 役割分担について  
 ふれあい研修会・支部研究会について  
 「父の日企画」について,  
 県学会について, 他
- 第3回理事会 平成24年7月26日(木) 18:30~立川 MC 会館 4F  
 議題:ふれあい研修会・支部研究会について  
 すこやかともしびまつり2012・糖尿病をしるつどいについて  
 県学会について, 他
- 第4回理事会 平成24年8月23日(木) 18:30~ 立川 MC 会館 4F  
 議題:ふれあい研修会・支部研究会について  
 すこやかともしびまつり2012・糖尿病をしるつどいについて  
 県学会について, 他
- 第5回理事会 平成24年9月21日(木) 18:30~ 立川総合病院 4F 会議室  
 議題:支部フォーラムについて, すこやかともしびまつり2012について  
 ふれあい研修会・支部研究会について  
 県学会について, 他
- 第6回理事会 平成24年10月25日(木) 18:30~ 立川 MC 会館 4F  
 議題:すこやかともしびまつり2012・糖尿病をしるつどいについて,  
 県学会について, 平成25年度中越支部総会, 中越支部講演会について, 他
- 第7回理事会 平成24年11月22日(土) 18:30~ 立川総合病院 4F 会議室  
 議題:平成25年度中越支部総会, 中越支部講演会について  
 篠川至賞選出について, 25, 26年度役員選考について, 他
- 第8回理事会 平成25年1月12日(土) 15:00~ 立川総合病院 4F 会議室  
 議題:平成25年度中越支部総会, 中越支部講演会について

篠川賞選出について、25、26年度役員選考について、他

## 【下越支部】

<研修会等>

### 第1回支部研修会

日時：平成24年7月21日（土）14：00～16：30

場所：下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容：「今更聞けないデータの見方」

血液検査部門 講師 県立吉田病院 水野 祐子技師

生化学検査部門 講師 県立新発田病院 小野間健介技師

生理検査部門 講師 県立新発田病院 長谷川恵美技師

参加者：68名（会員63名，非会員5名）生涯教育認定 専門20点

### 第2回支部研修会および総会

日時：平成23年2月23日（土）14：30～17：00

場所：下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容：「誰でも上手になれるコミュニケーション力アップ講座」

講師 アボットジャパン株式会社 営業統括部 TMR & セールストレーニング部 吉田 輝倫 先生

参加者：34名（会員28名，非会員6名）生涯教育認定 基礎20点

総会出席者：28名 生涯教育認定専門30点

<下越支部理事会>

今年度は、支部研修会打合せ等で4回開催した。

第1回：4月20日

第2回：5月25日

第3回：9月21日

第4回：1月18日

<ホームページ>

下越支部ホームページについては、なかなか更新できなかったが、理事の努力により、本年度更新することができました。

## 【佐渡支部】

<活動内容>

### 1) 研修会（専門-20）

日時 平成24年6月19日（火）18：30～（受付18：00～）

会場 佐渡総合病院 講堂

内容 「採血業務における基礎的な注意点 ～採血管の取扱いと検査値への影響～」

講師 積水メディカル(株) CSC 学術東日本グループ 須長 宏行 先生

座長 佐渡総合病院 斉藤桂子

### 2) 研修会（専門-20）

日時 平成24年7月28日（土）14：00～（受付13：30～）

会場 相川ファミリーオ

内容 1. 「感染症の最近の話題」

講師 アボットジャパン株式会社 中島 俊彦 先生  
座長 佐渡総合病院 宮崎勝吉

## 2. 「プレゼンテーションの上達法」

講師 アボットジャパン株式会社 吉田 輝倫 先生  
座長 佐渡総合病院 齊藤桂子

### 3) 研修会 (専門-20)

日時 平成24年11月23日 (金) 14:00~ (受付13:45~)

会場 佐渡総合病院 講堂

内容 1. 講演 14:00~15:00

「心電図の基礎」 日本光電 (株) 河村 能昌 先生  
座長 斎藤桂子

2. 一般演題 15:10~16:00

- ・血液検査の精度保証について ~採血から搬送までの取り組み~  
新潟県労働衛生医学協会 佐々木 善子
- ・当院におけるプロカルシトニン定量検査化と測定機器の検討  
佐渡総合病院 山田 将也
- ・表在病変の超音波検査  
佐渡総合病院 宮崎 勝吉  
座長 青木絵理

### 4) 支部総会 14:00~ (受付13:30~)

日時 平成25年3月2日 (土)

会場 佐渡総合病院 講堂

内容 1. 平成24年度佐渡支部総会 (基礎-30)

2. 学術講演 (専門-20)

「輸血検査について」 (仮題)

講師 オーン・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社 古杉 光明 先生

座長 斎藤桂子

#### <佐渡支部役員会>

第1回 5/14 (月) 佐渡総合病院

第2回 10/4 (木) 佐渡総合病院

第3回 11/7 (木) 佐渡総合病院

第4回 1/30 (火) 佐渡総合病院

計4回開催

#### 【新潟支部】

##### 1) 【平成23年度新潟支部研修会】2012.02.25

参加人数: 45人 (会員41人, 学生0人, 非会員4人)

演題: ヒトパピローマウイルス感染症の基礎と子宮頸癌 HPV 検査 アボットジャパン 小口 晃  
臨床化学の精度管理 千葉県循環器病センター 末吉 茂雄

##### 2) 【平成23年度新潟支部通常総会】2012.02.25

参加人数: 29人 (会員29人, 学生0人, 非会員0人)

- 3) 【第56回新潟支部血液研究会】2012.03.01  
 参加人数：21人（会員18人，学生0人，非会員3人）  
 演題：CMLにおける治療の変遷と検査  
 ブリストル・マイヤーズ株式会社 坂本 直彦  
 Dasatinibによる治療におけるLGLへの関与  
 ブリストル・マイヤーズ株式会社 亀田 茂
- 4) 【第33回一般検査研修会】2012.07.04  
 参加人数：50人（会員46人，学生0人，非会員4人）  
 演題：スライドカンファレンス  
 新潟医療技術専門学校 白川 千恵子  
 これだけは知っておきたい尿検査  
 済生会新潟第二病院 小野 篤史
- 5) 【第34回新潟病理技術研究会】2012.07.07  
 参加人数：31人（会員26人，学生1人，非会員4人）  
 演題：アザン・マロリー染色，渡銀染色の比較検討  
 新潟市民病院 樋口 忠博  
 渡銀染色の染色理論  
 サクラファインテックジャパン株式会社 渡辺 明朗  
 肝生検について  
 新潟大学第3内科 野本 実
- 6) 【平成24年度新潟支部研修会】2012.09.30  
 参加人数：44人（会員41人，学生0人，非会員3人）  
 演題：パニック値の対応～臨床化学部門  
 新潟大学医歯学総合病院 診療支援部臨床検査室 伊藤 正行  
 パニック値の対応～血液部門  
 新潟県立がんセンター新潟病院 梅田ひろ子  
 パニック値の対応～輸血部門  
 新潟大学医歯学総合病院 診療支援部臨床検査室 上村 正巳
- 7) 【第15回新潟市健康福祉祭】2012.10.14  
 参加人数：18人（会員18人，学生0人，非会員0人）  
 血管年齢測定者数：640人
- 8) 【第123回新潟支部微生物研究会】2012.12.06  
 参加人数：28人（会員23人，学生0人，非会員5人）  
 演題：結核の院内感染対策とQFT検査の有用性  
 日本ビーシージー製造株式会社 佐藤 誠悟

## 2. 総会及び幹事会

### <支部定期総会>

平成24年2月25日（土）新潟大学医歯学総合病院大会議室

- 1) 第1回支部幹事会 平成24年3月21日（水）新潟県臨床検査技師会事務所
- 2) 第2回支部幹事会 平成24年4月18日（水）新潟県臨床検査技師会事務所
- 3) 第3回支部幹事会 平成24年5月16日（水）新潟県臨床検査技師会事務所
- 4) 第4回支部幹事会 平成24年6月20日（水）新潟県臨床検査技師会事務所

- 5) 第5回支部幹事会 平成24年7月18日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 6) 第6回支部幹事会 平成24年9月5日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 7) 第7回支部幹事会 平成24年10月10日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 8) 第8回支部幹事会 平成24年11月14日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 9) 第9回支部幹事会 平成24年12月12日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 10) 第10回支部幹事会 平成25年1月16日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 11) 第11回支部幹事会 平成25年2月20日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所

## 平成25年度事業計画（案）

### 平成25年度事業方針

当技師会は学術職能団体として会員ニーズに応えることと、臨床検査技師の県民への認知度向上を目指した事業展開を図りたい。会員個々の組織体である技師会として何をなすべきか。そして何が出来たのかを常に考え活動したい。

日臨技宮島善文会長体制下の動向や日臨技各委員会からの答申に注視し、有用と思われる事項については積極的に連携して行きたい。過渡期となっている北日本支部については、支部内地区技師会と協調しながらも東北地区での学術研修活動を停滞させることのないよう留意して行く。

何れにしても本年度は、2014年の日本医学検査学会の新潟県開催に向けた企画、準備に忙殺されることが予測される。全国学会の運営経験も無く、不安を抱えながらの作業となるが、渡辺学会長を中心に不退転の決意で臨みたい。会員各位からも絶大なお支援とお協力をお願いしたい。

学会場と展示場が一体となって、コンパクトな学会になることも特徴のひとつだが、地方都市としての新潟県に遠くからお出でになる会員の満足度向上のために、我々一人ひとりがおもてなしの心を持った企画、準備が成功の鍵になる。そして、全国的な学術の動向把握や多くの方々とのコネクション構築が、その後の会員各位へ有形無形の財産となり、開催後の達成感は担当県でしか味わえないものとする。

その他事業についても停滞させることなく実施していきたい。引き続き懸案事項となっている法人移行問題については、この度の役員改定を踏まえ移行手続きを申請する。

県技師会災害支援ネットワークについては、東北地区の各県でHPを使用した支援ネットワークを今年度構築して、災害支援の規範として東北地区から全国に発信して行く構想があるので、停滞しつつある県会員の支援ネットワーク増加に繋げたい。

恒例化して来た各種公益活動については、公益委員会と各支部が連携しながら諸事業に対応していかなければいけないが、ボランティア募集に苦慮しているので、県民への奉仕の精神に期待したい。また、公益活動だけではなく、組織内で臨床検査技師の貢献度を向上するため、技師長・連絡責任者を中心に各施設での現状等情報交換を図りたい。

今年度の懸案事業を中心に述べてきたが、臨床検査セミナー、秋の県学会等の継続事業詳細については、総務部門、学術部門、広報部門から提案する。

これら諸事業の遂行には、会員各位のご理解とお支援が何より必要となるので、今後ともよろしく願いたい。

### 【総務部】

#### 1. 会務の執行体制

平成25年度は役員改選期にあたり、円滑な業務運営を推進するためにも、新役員へのマニュアル周知に務め、業務の遂行を図りたい。

また、活動の要である事務局機能を十分に生かし、各県技師会および日臨技との連絡・調整の場として、更なる会員サービスの向上を図りたい。

組織強化の面からは、日臨技、北日本支部（東北）臨技、各支部、会員各位と協力しながら情報交換を図り、一人でも多くの会員から技師会の意義を感じ取ってもらえる環境・体制を整えなければならない。

新公益法人制度改革については、一般社団法人へ移行するための申請準備として、新潟県福祉保健部医務薬事課より定款および諸規定変更の指導をいただき、年度内の申請に向け準備をしている。

新臨技としては、今後も国民および県民の保健・医療・公衆衛生に貢献する団体として、関連事業へ積極



的に参加し活動して行く。

## 2. 諸会議

### 1) 理事会・常任理事会

会議の招集、運営が非常に厳しい状況ではあるが、連携を密にするためにも、会議時間の短縮や運営方法を再検討しながら、総会に次ぐ議決機関として年6回の理事会を行い、常任理事会は毎月1回の定例開催を維持したい。

### 2) 三役会議・各部会議

諸会議の立案や各種業務内容の検討・調整を図るため、必要に応じて適宜開催する。

### 3) 各種委員会

本会活動の要としての役割を担っているが、本年度も更に活発に運営して行きたい。業務が益々多忙になる中で、積極的な業務の見直しと効率化を図って行きたい。

### 4) 全国学会WGおよび拡大委員会

2014年の第63回日本医学検査学会新潟県開催に向け、積極的にWGおよび拡大会議を開催し準備を進める。また、日臨技学会運営部会や前年学会での新潟県開催を積極的にアピールし活動する。

## 3. 組織対策

### 1) 臨床検査セミナー

毎年、第1回通常総会と同時開催している臨床検査セミナーは、7年目を迎え技師会事業として定着している。内容も市民公開講座による臨床検査技師のアピールや、臨床検査技師の卒後教育等を企画し自己研鑽の場ともなっており、今後も積極的に開催していく。

### 2) 各支部との連携

各支部持ち回りの秋の学会運営が定着しており、開催支部の特色を出しながら支部主導のもとに多くの会員参加を募り、本会の事業方針の展開と臨床検査の発展を目指したい。

### 3) 入会対策

引き続き厳しい医療情勢ではあるが、職能団体としての機能をさらに発揮するためには組織拡大が重要であり、各支部、各施設の理解と協力を得なければならない。

会費納入も一括引き落としとなったことから事務的作業も軽減され、且つ、臨床検査技師賠償責任保険が付加されたことによるメリットも多く、更なる会員増のための入会促進に努めたい。

また、日臨技検査技師連盟への入会促進に積極的に取り組み、臨床検査技師の地位向上と業務の拡大を図りたい。

### 4) 会員名簿の発行

会員名簿については、会務の運営ならびに会員相互の連携を図るうえで欠かすことが出来ないものであり、個人情報保護法を遵守し会員からの要望を踏まえ、配付を新潟県臨床検査技師会理事および各種委員、会員施設、賛助会員に限定し、25・26年度版を発行する。

## 4. 公益活動（地域保健医療活動）

新臨技会の活動として、県民の保健・医療・公衆衛生の向上と臨床検査技師の社会貢献による知名度向上を目的に、日臨技の公益事業計画および学会時の公開講演や健康展、関連職種団体との連携強化を進め、本年度も地域保健医療活動に積極的に参画して行く。

## 5. 無料職業紹介事業

厳しさを増している就職情勢ではあるが、日臨技や各支部長と協力、連携して情報交換を行い、積極的に対応したい。

## 6. 表彰関係

### 1) 篠川至賞

平成25年度で第31回となる篠川至賞は、その制定主旨により、各支部からの推薦者の中より篠川至賞選考委員会の審査を経て表彰されるものであり、会員の励みにもなっている。各支部からの積極的な推薦をお願いする。

## 2) 会長表彰

特別功労表彰、永年会員功労表彰は、新臨技表彰規定に基づき、それぞれの基準に該当する者について表彰委員会の審議を経て、平成25年度通常総会において表彰する。

## 3) 第2回日臨技北日本支部医学検査学会表彰

日臨技北日本支部医学検査学会での表彰については、現時点では東北医学検査学会の表彰を踏襲しており、新臨技表彰規定に基づき、それぞれの基準に該当する者について表彰委員会の審議を経て、学会担当県技師会に推薦する。表彰は学会式典において行われる。

## 4) 生涯教育奨励賞

多くの会員の生涯教育および学術活動への参画と活性化を求め、分野に関わらず最多得点者の上位3名を推薦する。

## 5) 生涯教育新人賞

臨床検査教育の場としての研修会等への参加を通じ、更なる技師会活動への参画に期待し、分野に関わらず20代会員の最多得点終了者を表彰する。

## 【学術部】

### 1. 学会

平成25年秋季に第89回新潟県臨床検査学会を開催する予定である。平成26年に新潟県で開催される第63回日本医学検査学会を見据え、メイン会場である朱鷺メッセを使用し新潟支部を中心として、第63回日本医学検査学会実行委員が企画・運営にあたる予定である。例年同様に一般演題・レクチャー・ランチョンセミナー・を実施する予定である。

会 期：平成25年秋季

会 場：朱鷺メッセ

テーマ：未 定

### 2. 検査研究部門

検査研究部門の各種研修会は技師会の最も重要な活動のひとつである。医療制度や検査室運営体制、検査技術が激しく変化する状況においては、ますます重要な責務を負うものと考えられる。医療を支える臨床検査の精度を担保するために、技師能力の向上を担う部門として活動する。平成26年度に第63回日本医学検査学会を本県が担当するにあたり、検査研究部門は大いに貢献したい。

研究組織は6部門で構成し、臨床化学分野、免疫血清分野、染色体・遺伝子分野、機能検査分野、画像検査分野、細胞分野、病理分野、一般検査分野、血液分野、微生物分野、疫学・公衆衛生分野、輸血・移植分野、管理運営分野の13研究分野を実質的な活動単位とする。

1分野あたりの活動費助成金は昨年度と同額の8万円とし、当事者負担の原則の下で過剰な負担が及ばない程度の参加費で運営経費を補完する。非会員の研修会参加費は、会員の3倍額とすること、また実習形式の研修会では会員応募者を優先するなど、会員の利益を優先することとする。

研修会の内容は、初心者や認定技師取得教育、最新情報などのバランスを考慮して、様々な状況にある会員に有用な情報をバランスよく発信できるようにしたい。技術的な垣根が薄れつつある分野では、複数分野の合同研修会や、相互補完研修会を企画する。若手・初級・中級・小規模施設などの人材育成と魅力ある学術活動を目指し、研究分野と協力して検査研究部門としての系統的な生涯教育を行いたい。実習形式による研修会を積極的に推進する。

研修会開催日の重複を避けるため、研究分野や支部との連絡を密に行い調整を図る。研修会開催日や場所は十分考慮し、地域格差を軽減する。若手技師に対する学会発表や論文作成などの技術的なサポートを行いたい。

### 3. 精度管理事業

本事業は新潟県医師会が新潟県から委託を受け、新潟県臨床検査精度管理協議会を設置して推進している事業である。本会としては、会員の技術向上に重要な事業であるという位置づけで本年度も積極的に協力していく。

関係専門スタッフで構成された精度管理委員会の中心活動として、本事業の内容を更に充実、発展させていきたい。また本年度も臨床化学、微生物、血球計算の調査を可能な限り実施していきたいと考えている。平成19年度より日臨技データ標準化事業がスタートし、それを踏まえ実施項目を増やし、標準物質が入手可能な項目については随時評価を行ってきたが、本年度もそれらに努めたい。また配送及び梱包方法を検討し、マニュアルを作成し、文書化していきたい。更に実施要項ダウンロード、結果入力についてを Web 利用を検討し、会員にとってより簡便になるように努めていきたい。

また、日臨技の「臨床検査室精度保証認証制度」についても今年度は多くの施設が申請を行っていた大きくように啓蒙を進めていきたい。

### 4. 生涯教育

生涯教育研修制度は、臨床検査技師の知識や技術水準の維持・向上を目的とし、会員の自発的な学習を組織的に援助する制度である。会員は定められた履修期間・カリキュラムを基に履修点数を取得する。

日臨技情報総合システム（JAMTIS）で管理されており、行事登録や参加者登録は各都道府県技師会で行っている。

本年度は役員改正に伴い、初めて生涯教育事業に携わる方もおられると思うが、例年同様マニュアルを基に各検査研究部門・各支部担当者から登録作業を行っていただく。不明な点があれば、県担当理事との連携を密にし、円滑な事業の推進に努めたい。

## 【広報部】

新臨技会誌、新臨技ニュースおよび新臨技ホームページの運営を通して全会員へ向けたレスポンスの良い情報を例年通り安定提供したい。平成25年度の目標は役員交代に伴う引継ぎや新役員が会務を滞りなく行える環境作りとする。具体的には、昨年同様ではあるがホームページでの各種研修会案内や公益活動予定（ボランティア募集を含む）さらに新潟県臨床検査学会要綱、一般演題投稿規定等を情報が入り次第迅速に対応していく。懸案事項の各支部ホームページ運営では、委員に負担のかからないソフトウェアや WEB 等を利用し更新が定期的に行われることにより、各支部会員に還元できるシステムを構築したい。新臨技会誌においては、毎回の課題である新潟県臨床検査学会抄録掲載号を、現状より可能な限り早期に発刊できるよう努力する。今後会員への情報発信をより迅速化し、大きく貢献できるものと期待している。新潟県臨床検査技師会は、平成26年に開催予定されている全国学会を成功させるため時代のニーズに対応した広報活動をしていきたい。そのため、県理事、各支部理事および会員全員で情報の共有化を尚一層強化していかなければならない。新臨技会誌、新臨技ニュース、新臨技ホームページはその大きな役割を担っており、広報委員一同は、会誌やホームページの充実に熱意を持って取り組んでいく。

#### 1) 新臨技会誌

会誌発行は287号から290号までの年4回季刊発行を予定する。〔講義〕は学会・研修会等の内容を掲載し、受講できなかった会員のために適宜掲載していきたい。また、講義の内容は部門長を通してすべての分野から投稿していただくように広報活動にも力をいれる。〔研修会報告〕は参加会員の協力により引き続き掲載し、情報提供や新人会員の研鑽の頁としたい。親睦広報に関しては〔ペンリレー〕〔新入会員紹介〕〔検査技

師として～私の奮闘記～]などの掲載で会員相互の親睦をはかり、だれもが参加できる企画を増やしていきたい。さらに、今まで以上に公益活動内容を紹介し、多くの会員にボランティア参加していただくため〔公益活動報告〕を掲載していく。

## 2) 新臨技ニュース

理事会議事録の掲載を中心に、組織活動、研修会案内、求人情報など速報性のある内容を順次掲載していきたい。発行は理事会終了後の月1回発行しているが、委員の努力により読みやすいレイアウトになっている。求人情報など早めに情報が入手でき好評である。今後も広く会員に読まれるよう工夫していきたい。

## 3) 新臨技ホームページ

新臨技ホームページは、案内・各支部活動・研究班活動の内容がリアルタイムに閲覧できることより、世代を問わず多くの会員から好評を得ている。今年度から日臨技北日本支部医学検査学会および新潟県臨床検査学会の専用バナーを作成し、会員への見やすさを目指した環境が好評であった。毎年継続できるよう努力する。引続き事務局との連絡を密にして、県内の会員に情報提供できるよう努めたい。

また、昨年同様当技師会は、大規模災害時での施設および会員安否確認のため災害時緊急連絡システム(メーリングリスト)を全国に先駆けて構築している。インターネット・インフラの強みが先の大震災で証明され、災害被災県である我が県が、災害支援事業でリーダーシップを発揮し全国を牽引していくためにも、一人でも多くの新臨技会員の登録をお願いしたい。(詳細は県技師会ホームページ参照)

## 平成25年度収支予算（案）

### 予算編集に当たって

今回の予算編集は事業費収入における助成金収入が減少することを見込んだ編成を行い、平成25年度の予算編成を行った。昨今の経済状況の低迷により昨年同様、企業合併などによる賛助会員および広告数の減少ならびに、団塊の世代の退職も重なり会員数の減少も懸念されるが、今後も会員数の維持、増加に努めたい。

以下に、予算編成の要点を示し、平成25年度予算の提案としたい。

### 収入について

1. 会費収入：正会員は昨年よりやや増加傾向の1235名とし、賛助会員は68口とした。
2. 事業収入：会誌広告収入は会員名簿作成があるので増額。
3. 助成金収入：日臨技からの生涯教育推進助成金に上限が設定されたため減額とした。
4. 雑収入：県学会の賛助会員施設からの協力金は昨年同様とした。

### 支出について

1. 事業費：学術活動費は日臨技からの生涯教育推進助成金に上限が設定されたため減額。  
総会費は例年同様とした。  
広報費の会誌発行費を会員名簿作成のため増額、広報編集費は東臨技より災害対策ホームページ作成費の助成金があるため増額。  
組織強化費は組織広報費を各支部内で負担していただいている部分もあり減額。
2. 管理費：印刷費をやや増額とし、他の科目は昨年同様とした。
3. 特定預金支出：北日本支部学会は日臨技の支部学会の位置付けなので積立はなし。

## 平成25年度収支予算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

### 収入の部

大科目	中科目	小科目	平成25年度予算	平成24年度予算	差異	摘要
会費収入			8,152,500	8,092,000	60,500	
		正会員会費	6,792,500	6,732,000	60,500	1,235名
		賛助会員会費	1,360,000	1,360,000	0	68口
事業収入			4,700,000	4,340,000	360,000	
		参加費収入	1,500,000	1,500,000	0	県学会、検査研究部門
		会誌広告収入	1,000,000	540,000	460,000	会誌、名簿広告料
		助成金収入	2,200,000	2,300,000	△ 100,000	日臨技、県医師会、東臨技
雑収入			1,005,000	1,005,000	0	
		預金利息収入	5,000	5,000	0	
		雑収入	1,000,000	1,000,000	0	協力金
	当期収入合計 A		13,857,500	13,437,000	420,500	
	前期繰越収支差額		1,000,000	1,000,000	0	
	収入合計 B		14,857,500	14,437,000	420,500	

支出の部

大科目	中科目	小科目	平成25年度予算	平成24年度予算	差異	摘 要
事業費			9,800,000	9,100,000	700,000	
	学術研究費		3,850,000	4,050,000	△ 200,000	
		学 会 費	1,000,000	1,000,000	0	第89回新潟県学会
		学 術 部 活 動 費	2,000,000	2,200,000	△ 200,000	研究部門活動費
		精 度 保 障 事 業 費	400,000	400,000	0	新潟県精度管理事業等
		負 担 金	350,000	350,000	0	東北技師会負担金
	総会費	雑 費	100,000	100,000	0	源泉徴収税等
			1,250,000	1,250,000	0	
		準 備 費	250,000	250,000	0	賞状作成費等
	広報費	運 営 費	1,000,000	1,000,000	0	セミナー開催費
			3,500,000	2,500,000	1,000,000	
		会 誌 発 行 費	2,500,000	2,000,000	500,000	会誌4号, 会員名簿
	組織強化費	広 報 編 集 費	1,000,000	500,000	500,000	広報委員会・HP維持管理費
			1,200,000	1,300,000	△ 100,000	
		支 部 強 化 費	600,000	600,000	0	各支部助成金
		組 織 公 報 費	400,000	500,000	△ 100,000	各支部公益事業負担
		災 害 対 策 費	200,000	200,000	0	
管理費			4,960,000	4,910,000	50,000	
	事務費		2,450,000	2,400,000	50,000	
		備 品 費	200,000	200,000	0	パソコンソフト備品等
		消 耗 品 費	100,000	100,000	0	文房具, 封筒
		印 刷 費	350,000	300,000	50,000	各種案内コピー等
		通 信 費	500,000	500,000	0	案内発送
		交 通 費	350,000	350,000	0	日臨技, 東北会議
		渉 外 対 策 費	300,000	300,000	0	関連団体, 支部対策
	会議費	報 酬 費	650,000	650,000	0	事務職員報酬等
		旅 費	600,000	600,000	0	理事会旅費
	事務所費		1,730,000	1,730,000	0	
		維 持 管 理 費	1,600,000	1,600,000	0	賃貸料, 電気代
		電 話 費	100,000	100,000	0	
		事 務 所 雑 費	30,000	30,000	0	
	雑費		180,000	180,000	0	
		交 際 費	150,000	150,000	0	関連団体慶弔費
		雑 費	30,000	30,000	0	
特定預金支出		0	300,000	△ 300,000		
	会館建設引当預金支出	0	0	0		
	学会引当預金支出	0	300,000	△ 300,000	北日本支部学会積立	
予備費		97,500	127,000	△ 29,500		
当期支出合計	C	14,857,500	14,437,000	420,500		
当期収支差額	A - C	△ 1,000,000	△ 1,000,000	0		
次期繰越収支差額	B - C	0	0	0		

注1：短期借入金限度額 1,000,000円

注2：債務負担額はない